

平成20年11月5日

各 位

上場会社名 テーデーエフ株式会社
 代表者 取締役社長 滝沢 聡
 (コード番号 5641)
 問合せ先責任者 常務取締役 鈴木 英男
 (TEL 0224-52-7061)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月19日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位: 百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,460	390	530	250	15.78
今回発表予想(B)	12,660	510	750	510	32.19
増減額(B-A)	200	120	220	260	——
増減率(%)	1.6	30.8	41.5	104.0	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	11,695	697	837	422	28.33

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,200	950	1,240	700	44.18
今回発表予想(B)	25,150	430	760	620	39.13
増減額(B-A)	△50	△520	△480	△80	——
増減率(%)	△0.2	△54.7	△38.7	△11.4	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	24,308	1,179	1,668	836	55.06

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,270	250	660	450	28.40
今回発表予想(B)	8,640	280	810	760	47.97
増減額(B-A)	370	30	150	310	——
増減率(%)	4.5	12.0	22.7	68.9	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	7,783	381	742	448	30.11

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,600	560	960	600	37.86
今回発表予想(B)	17,090	320	810	790	49.86
増減額(B-A)	490	△240	△150	190	——
増減率(%)	3.0	△42.9	△15.6	31.7	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	16,054	600	974	438	28.88

修正の理由

(1) 第2四半期累計期間の個別業績予想について

売上高につきましては、原材料価格の高騰による影響等により増収傾向であり、経常利益並びに当期純利益につきましては、持分法適用会社からの配当金増及び子会社の吸収合併に伴う特別利益の増等により増益傾向となる見込みであります。

(2) 第2四半期連結累計期間の連結業績予想について

連結業績につきましても、個別業績同様の理由等によるものであります。

(3) 通期の個別業績予想について

売上高につきましては、引き続き原材料価格の高騰が予測されますが、第3四半期会計期間以降の各得意先からの大幅な受注の減少が予測されることにより当初予測に比し、微増に止まる見込みであります。

営業利益、経常利益につきましては、社内合理化改善活動を実施・推進することによる増益要因はありますものの、エネルギー価格の

高騰等に伴うコスト増、法改正に伴う減価償却費の負担増等の影響により、当初予測に比し、減益傾向となる見込みであります。
当期純利益につきましては、法人税等の減少により当初計画に比し、増益傾向となる見込みであります。

(4) 通期の連結業績予想について

連結業績につきましても、個別業績同様の理由並びに連結子会社においての各得意先からの大幅な受注減少が予測されることによる減収・減益傾向となる見込みであることから、売上高・営業利益・経常利益・当期純利益は、それぞれ減収・減益となる見込みであります。

【業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項】

本資料に記載されている業績の見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により異なる可能性があります。

以 上